被災地方言会話集

ー　宮 城 県 石 巻 市　ー

＜場面設定会話＞

場面設定会話の概要

収録地点　　宮城県石巻市

収録日時　　2012（平成 24）年 11 月 28 日

収録場所　　宮城県石巻市万石町（話者Ａ・Ｂ宅）

話題　　【場面設定会話】
　全 12 場面

話者

Ａ	男	1931（昭和 6）年	（収録時 81 歳）	［Ｂの夫］
Ｂ	女	1937（昭和 12）年	（収録時 75 歳）	［Ａの妻］

話者出身地

Ａ　石巻市万石町（マンゴクチョウ）

Ｂ　大崎市松山（マツヤマ）〔1〕

【場面設定会話】

話し手

A　男　1931（昭和 6）年　（収録時 81 歳）
B　女　1937（昭和 12）年　（収録時 75 歳）

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001Ｂ：オハヨー。
おはよう。

002Ａ：オハヨーゴザイマス。（Ｂ　ウン）
おはようございます。（Ｂ　うん）

003Ｂ：ドゴサ　イク゛ノー。
どこに　行くの。

004Ａ：ウーン。イマカラ　チョットー　ハダゲサー（Ｂ　アー）インカト
うーん。今から　ちょっと　畑に　（Ｂ　ああ）行くかと

オモッテサー。
思ってさ。

005Ｂ：ナニガ　ウエテタノー。
何か　植えてたの？

006Ａ：ウーン、イロイロ　アッケッドモ　キョワー（Ｂ　アー）アイター、
うん、　いろいろ　有るけれども　今日は　（Ｂ　ああ）あれだ、

ミテクルダケダ。
見てくるだけだ。

007Ｂ：ア　ホント。サムイガラ　キオツケラインヨ。ンデネ。
あ　本当。　寒いから　気をつけなさいよ。じゃあね。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001Ａ：コンヌズワー。
こんにちは。

002Ｂ：アラー。（Ａ　ス）ドゴサ　イッテキタノー 。
あら。　（Ａ　×）どこに　行ってきたの。

003Ａ：コレガラー　チョコット　ハダゲッコサ　マワッテ　インカト　オモッテヤー。
これから　ちょっと　畑に　回って　行こうかと　思ってさ。

004Ｂ：ジデンシャ　アブナェカラネ　キツケテ　アルガインョ。〔2〕
自転車　危ないからね　気[を]つけて　歩きなさいよ。

（Ａ　ウン。ダネー）　ンデネー。
（Ａ　うん。そうだね）それじゃあね。

005Ａ：ハイ、ンデー。　ドモドモ。
はい、それでは。どうもどうも。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001Ａ：オー　オバーン。
おう　こんばんは。

002Ｂ：アラー　ドゴサ　イッテキタノー。
あら　どこに　行ってきたの。

003Ａ：チョコット　グルーット　サンポサ　イッテクッカト　オモッテサ。
ちょっと　ぐるっと　散歩に　行って来るかと　思ってさ。

004Ｂ：ユーカ゜タ　サムイガラ　ハヤグ　カエッタホ　イーヨー。キーツケテー。
夕方　寒いから　早く　帰った方[が]　いいよ。　気をつけて。

005Ａ：ンーダネー。（Ｂ　ウーン）ゾダガラド　オモッテ　ハヤメニ　キタンダケッドモ。
そうだね。　（Ｂ　うーん）だからと　思って　早めに　来たんだけども。

006Ｂ：ウーン、ンデネー。　（Ａ　ハーイ　ンジャ）　コロバネヨーニネ。
うん、　それじゃあね。（Ａ　はい　それじゃ）転ばないようにね。

〈 労い 〉

(4) Ａが仕事に精を出すＢと会い、Ｂの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001Ａ：キョワ　オテンキ　イークテ　コレァ　カキムギモ　イイネァ。
今日は　お天気　良くて　これは　牡蠣剝きも　いいね。

002Ｂ：ンダヨー。キョーネー（Ａ　ウーン）アッタカイガラネー　ワリト
そうだよ。今日ね　（Ａ　うん）　暖かいからね　わりと

イーデバーッテ。〔3〕
いいよ。

003Ａ：ンダネー。　オレモ　チョコット（Ｂ　ウン）イマ　ホレー　ウエノ　デ
そうだね。俺も　ちょっと　（Ｂ　うん）今　ほら　上の　×

デークサンサ　イッテキタンダケッドモー、フネッコ　ナオシテモラウノニ。
大工さんに　行ってきたんだけども、　船　直してもらうのに。

アー　イマ　ジョーッタッケ、アイッタネー、
あー　[その帰りにここに]今　寄ったら、　あれだねえ、

アー　メーコイッチャ　ホレー。〔4〕
あ　小さいね　ほら。

004Ｂ：ア　ンデモ　ネーンダヨー。タ　カラ　カデクテ　タイヘンダデバー。
あ　そうでも　ないんだよ。　×　殻　固くて　大変なんだよ。

005Ａ：アーー。（Ｂ　ウーン）ンジャ　シンデーネー。　（Ｂ　ウーン）
ああ。　（Ｂ　うーん）それじゃあ　ひどい[＝大変だ]ね。（Ｂ　うーん）

ンデー　ガンバッテ（Ｂ　ハイヨー）ムイテケライン。
それでは　頑張って　（Ｂ　はいよ）　剥いてください。

〈 勧め 〉

(5) Ａが、仕事をしているＢに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001Ａ：アー　ヤッテヤネー。
　　ああ　やっているね。

002Ｂ：ハーイ｛咳｝ムイデダヨー。
　　はい　｛咳｝[牡蠣を]剥いているよ。

003Ａ：ウーン　マイヌズ　イイネァ。（Ｂ　ウーン）ニダンモ　イーンダイッチャネー。
　　うん　毎日　いいなあ。（Ｂ　うん）　値段も　いいようだね。

004Ｂ：ネダン　イーデバ　コドシー。
　　値段　いいよ　今年。

005Ａ：ウーン（Ｂ　ウン）ホガヌーモ　ネーガラネァ。
　　うん。（Ｂ　うん）他にも　[牡蠣作っているところ]ないからなあ。

006Ｂ：ウーン。コドシ
　　うん。　今年

007Ａ：ミンナ　ヤライデ　アレ　アノ　ツ　ツナミデネー。
　　みんな　やられて　あれ　あの　×　津波でねえ。

008Ｂ：ンダネー。コドシミダイニ　ネダン　イートシモ　ネーガラネ。
　　そうだね。今年みたいに　値段　いい年も　ないからね。

009Ａ：ネー
　　ねえ。

010Ｂ：ウン。
　　うん。

011Ａ：ウーン。オラエニ　アレ　ケァリニ　ヨッテ、ガガ　ヒトリデ
　　うーん。うちに　あれ　帰りに　寄って、母さん[が]　１人で

ツクント　　シテヤカラ。　ヨッテ　オジャッコ　ノンデッテー、ケァリニ。
しょんぼりと　しているから。寄って　お茶　　飲んでいって、帰りに。

012Ｂ：アー、アリガト。ンジャ　　カエリー　ヨッカラー、
ああ、ありがと。それでは　帰り［に］　寄るから、

（Ａ　アーイ）ユットイデー。
（Ａ　はーい）言っておいて。

013Ａ：デ　ンデ　　ユッテオッガラ。
×　それでは　言っておくから。

014Ｂ：ウン。ンデネー。
うん。それじゃあね。

015Ａ：ハーイ。
はい。

〈 訪問時の声掛け 〉

(6) 昼間、ＡがＢ宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001Ａ：コンニズワー。
こんにちは。

002Ｂ：ハーイ。
はーい。

003Ａ：イダノー。
いるの。

004Ｂ：イダヨ。
いるよ。

005Ａ：オヤンツ　イダガ。
お父さん　いるか。

006Ｂ：アラー　オット　　イネデバ。
あら　　お父さん[＝自分の夫]　居ないよ。

007Ａ：ドゴサ　イッタンダー、キョワ。
どこに　行ったんだ、　今日は。

008Ｂ：チョコット　ドゴサ　イッタンダガ。
ちょっと　　どこに　行ったのだか。

009Ａ：ンー　アッチモヤー｛笑｝アイッタガラナー、デデアルッカラナー。
うん　あいつもさ　｛笑｝あれだからな、　　出て歩くからな。

アッチコッツ。
あっちこっち。

010Ｂ：ウン。デモ　イマ　クッペカラ　　オチャ　ノマイン。　（Ａ　ウーン）
うん。でも　今　　来るだろうから　お茶　　飲みなさい。（Ａ　うん）

ハイライン。
入りなさい。

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) ＡがＢにスコップを借りるときのやりとり。（Ｂが貸す場合）

001Ａ：アーラ　コンニズワ。
あら　　こんにちは。

002Ｂ：アイヨ。
はいよ。

003Ａ：チョコット　オネガイサ　キタンダゲッドモ、（Ｂ　ハイ　ナニー）
ちょっと　　お願いに　　来たんだけれども、（Ｂ　はい　何）

ンー　　ホレー　ニワッコ　チョコット　ホンネゲネーガラ
うーん　ほら　　庭　　ちょっと　　掘らなければいけないから

スコップ　　ミタッケ　ネーンダオンヤ　オラエノイエニ。〔5〕
スコップ　　見たら　　無いんだもんな　うちに。

（B　アーラ　ソ。　オラエ）ドゴサ　イッタンダガ。
（B　あら　　そう。うちの）どこに　いったんだか。

004Ｂ：ドゴガ　ソノヘンニ　アンデネ　　スコップ、モッテ（A　カ　ウーン）
どこか　その辺に　　あるんじゃない　スコップ、持って（A　×　うん）

イッタラ　イッチャ。
行ったら　いいさ。

005Ａ：カシデモライデート（B　ウーン）オモッテサー。
貸してもらいたいと（B　うん）　思ってさ。

006Ｂ：モッテイッテ　ツカワイン。
持っていって　使いなさい。

007Ａ：ハイハイ。
はいはい。

〈 お礼 〉

(8) Ａが借りたスコップをＢに返しに行ったときのやりとり。

001Ａ：コンニズワー。
こんにちは。

002Ｂ：ハーイ。
はい。

003Ａ：スコップ　モッテキタ、アレ　カリダヤズ　モッテキタドゴダ。
スコップ　持ってきた、あれ　借りたやつ　持ってきたところだ。

004Ｂ：アレ　オワッタノー。
あれ　終わったの。

005Ａ：ウーン。
うん。

006Ｂ：ツカッタノー。（Ａ　ウーン）アー、ンデー　　サッキ　アッタ　トゴサ
使ったの。　　（Ａ　うん）　ああ、それでは　さっき　あった　所に

オイテッテケライン。
置いていってください。

007Ａ：アー、ド　ダヤー、ンデ　　ナヤサ　オゲバ　イーンダナー。
ああ、×　納屋、　それで　納屋に　置けば　いいんだな。

008Ｂ：ウーン　ウン。
うん　　うん。

009Ａ：ウーン、ンデ　　ナヤサ　オキニ　インカラ。
うん、　それで　納屋に　置きに　行くから。

010Ｂ：ハーイ。
はい。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

(9) ＡがＢに借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) Ｂが構わないという場合。

001Ａ：アイヤイヤイヤイヤイヤ。スコップ　コレ　コワリデ　スマッデ。
あいやややややや。　　スコップ　これ　壊れて　　しまって。

002Ｂ：アラ。イーンダヨ　フルイガラ　キニシネグタッテー。
あら。いいんだよ　古いから　気にしなくたって。

003Ａ：ウーーン　イヤ、アノ、カッテ　モッテクッカラ。
ううん　　いや、あの、買って　持ってくるから。

004Ｂ：アレ　イーッデバ　カワネグダッテ、イーノ（Ａ　ナ　ンダッテー）ドーセ、
あれ　いいってば　買わなくたって、いいの（Ａ　×　だって）　　どうせ、

イーノ　イーノ。
いいの　いいの。

005Ａ：ダッテ　イーノ　イーノッテ　ユッタテヤー、ネーゲ　　フズユーダベチャヤ。
だって　いいの　いいのって　言ったってさ、無ければ　不自由だろうよ。

006Ｂ：ウウン。イーガラ　ソノ　チョ　（Ａ　ウーン）フルインダガラ　ソイズ。
ううん。いーから　その　××　（Ａ　うーん）古いんだから　　そいつ。

(9-2) Ｂが破損に対して不満を述べる場合。

なし〔6〕

〈 誘いと断り 〉

(10) ＡがＢを祭りに誘う際のやりとり。

001Ａ：オイ　イダノー。
おい　いたの。

002Ｂ：ハイ　イダヨー。
はい　いたよ。

003Ａ：ア　ア　キョ　アレーー、サンハンデー〔7〕マズリ
×　×　今日　あれ、　　サンファンで　　祭り

アンダーッツッケーナー。　　（Ｂ　ウン　アー）ンダガラ　イッテミネー。
あるんだって言ってたっけな。（Ｂ　うん　ああ）だから　　行ってみない？

004Ｂ：アラー、オラ　イカ゜ンネ　アソコサ、イカ゜ンネヨー。
あら、　俺　　行けない　　あそこに、行けないよ。

005Ａ：イーガラ　　クルマサ　ノシテ　インカラ、イーガラ。
いいから　　車に　　乗せて　行くから、いいから。

006Ｂ：アー　デモサ　ナニモ　カウモノモ　ネーシ　サムイガラ
ああ　でもさ　何も　　買うものも　ないし　寒いから

イカ゜ンネ　オラ　キョ。
行けない　　俺　　今日。

007Ａ：ナーンダヤ　ワザワザヤ　サソイサ　キタノニヤ。
なんだよ　　わざわざさ　誘いに　　来たのにさ。

008Ｂ：アラ　ゴメーン。
あら　ごめん。

〈 お見舞い 〉

（11）体調を崩しているＢに、Ａが体の調子を尋ねる際のやりとり。

（11-1）Ｂの調子がいい場合。

001Ａ：コンニチワー。
こんにちは。

002Ｂ：ハーイ。
はい。

003Ａ：イダノ。
いるの。

004Ｂ：ハイ　イダヨ。
はい　いたよ。

005Ａ：アー、キョーワ　タイチョー　ドーダノ。
あー、今日は　　体調　　どうなの。

006Ｂ：ウーン　キョーワ、
うーん　今日は、

007Ａ：ナンボガ　イーノ。
いくらか　いいの。

008Ｂ：ナンボガ　イーデバ。
いくらか　いいってば。

009Ａ：アー、（Ｂ　ウーン）デ　ンデ　　イーネー。
　　ああ、（Ｂ　うーん）×　それで[は]　いいね。

010Ｂ：ウーン　オカゲ゛サマデネー。（Ａ　デモナー　ウーン）ナンボガ
　　うん　おかげさまでね。　（Ａ　でもな　うーん）いくらか

　　イーデバ。
　　いいってば。

011Ａ：ダイズニ　スネート。
　　大事に　しないと。

012Ｂ：ンダネー。（Ａ　ウン）オタガイ　トシダガラ。（Ａ　ウーン　トシ
　　そうだね。（Ａ　うん）お互い　年だから。　（Ａ　うん　年

　　トッタネ）キーツケネバネ。　ウン　アンダモ　キオツケテネ。
　　取ったね）気をつけなければね。うん　あんたも　気をつけてね。

013Ａ：ウーン。
　　うん。

（11-2）Ｂの調子が悪い場合。

001Ａ：アラ　コンニジワー。
　　あら　こんにちは。

002Ｂ：ハーイ。
　　はい。

003Ａ：ナジョデガスー。（Ｂ　ンダネー）タイチョーワ。
　　どうです？　（Ｂ　そうだね）体調は。

004Ｂ：キョ　ナンダガネー、チョットネー　チョーシワリーノ。（Ａ　アララ）
　　今日　なんだかね、　ちょっとね　調子悪いの。　（Ａ　あらら）

キョ　サムイガラダガ　ナンダガサー　チョット　チョーシ　ワリンダデバー。
今日　寒いからだか　　なんだかさ　　ちょっと　調子　　悪いんだってば。

005Ａ：ビョーインサワ　イッテヤンデガスッペ。
病院には　　行っているんでしょう。

006Ｂ：イッテダヨー。（Ａ　ウー）ウーン　デモ　ナガナガネー、ヨク゛ナンネノネー。
行ってるよ。　（Ａ　ああ）ウーン　でも　なかなかね、　良くならないのね。

007Ａ　ウン。
うん。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというＢに、Ａが「（私が）片付けてやろう」というときのやりとり。

001Ａ：アーラ　コンニズワ。
あら　　こんにちは。

002Ｂ：ハーイ。
はい。

003Ａ：タイチョー　ドーダノ。
体調　　どうなの。

004Ｂ：コノゴロネー　アンマリ　ヨク゛ネーガラサー、サッパリ　ソノヘンモ
この頃ね　　あんまり　良くないからさ、　　さっぱり　その辺も

ウーン　ナニモ　カタズゲネデ　イダデバー。〔8〕
ううん　何も　　片付けないで　いるってば。

005Ａ：ンデー　　カタズケテ　ヤルスカ。
それじゃあ　片付けて　　あげますか。

006Ｂ：ンーデ　　スコシサー　ソノヘンノ　クサッコ　トッテケネー。
それで[は]　少しさ　　その辺の　　草　　取ってくれない？

オネガイスッカラー。
お願いするから。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をＡが間違って捨てようとしているときに、Ｂがそれを制止してどのようにいうか。

001Ａ：ナヤッコ　カタズゲッカ。
納屋　　片付けるか。

002Ｂ：ウーン　デワ　オネガイネー。
うん　　では　お願いね。

003Ａ：デ　ナンデモ　イーノ。コイズラ　アノ　ミナ　　インダ、　イラネーンダベ。
で　何でも　　いいの？こいつら　あの　みんな　いいんだ、いらないんだろう？

004Ｂ：ウーン　イーノ　イーノ。
うん　　いいの　いいの。

005Ａ：ウーン　ンデ　　コエ　ミンナ　ナゲ゜ッカ。
うん　　それで[は]　これ　みんな　捨てるか。

006Ｂ：ア　アー　ンデネーノ　　ソノシャシンワ　シャシ　シャシンタテ　ダメ、
あ　ああ　そうじゃないの　その写真は　　×××　写真立て　　駄目、

ソイズワ　ダメダヨーッテ。
そいつは　駄目だよって。

007Ａ：ンー　アー　コイズガー。（Ｂ　ウーン）ナシテ　　コイズワ、
ん　　ああ　こいつか。　（Ｂ　うん）　どうして　こいつは、

イラネッチャヤー。
いらないでしょう。

008Ｂ：ソイズ　ダイジナモノナノ。（Ａ　アラララ）ウーン、ソイズワネー
それは　大事なものなの。　（Ａ　あらら）　うん、　それはね

（A　ンー　ンーデ）ダメ。（A　ンー　ンデ）　ソイズバ
（A　うん　それで）駄目。（A　うん　それで）そいつを

イーガラ。
［捨てなくても］いいから。

009Ａ：ホイズワ　ホイッ　ホイッチャ　ハズメッカラ　ノゲデオッカー。
そいつは　×××　それに　初めから　除けておくか。

010Ｂ：ソイズバリ　ヌイデ　ン　カダズゲデー。ンデー。
それだけ　抜いて　×　片付けて。　それじゃあ。

011Ａ：ウン　ウン。
うん　うん。

宮城石巻市方言会話集（場面設定会話）注記

〔１〕大崎市松山

旧志田郡松山町。話者はそこで生まれ二十歳の時に万石町へ嫁入りした。本来、石巻市出身者の話者同士の会話を収録すべきであったがかなわなかった。

この会話を別の石巻市出身者が聞いても違和感はないとのことであるが、利用の際には注意を要する。

〔２〕アルガイン

直訳すると「歩きなさい」であるが、石巻に限らず東北各地の方言で「歩く」という動詞は「行く」や「出かける」のように移動を表す意味で用いることができる。

〔３〕イーデバーッテ

文末の「ッテ」は調査者に向けたものと思われる。すなわち、「『いいんだよ』って（言うかな）。」のようにやや説明を志向した言い方である可能性が高い。この部分の音声は直後の音声と重なっており、取り除くことができなかったため、さしあたって文字化はしておくが、共通語訳の方には意味を反映しないでおく。

〔４〕メーコイッチャ

石巻市で小さい、可愛いなどの意味を表す方言は「メンコイ」「メンケー」であるが、ここでは自然会話の中で「メーコイ」と発音されている。前段からの文の続きがわかりにくいが、Ａが牡蠣剥きの場に立ち寄りたまたまそこでＢの剥いている小さい牡蠣を目にしたという設定で話されたものである。牡蠣が小さいということは剝くのにさほど苦労がいらないだろうということを暗示しているが、Ｂにとっては牡蠣の殻が固くて大変だと返す文脈である。このように場面依存の会話は決して珍しいものではない。

〔５〕オラエノイエニ

発音が不明瞭なため判然とはしないが、このように記述した。本来はオラエで「我が家」の意味を持つが、より具体的に場所を指すためにイエをつけたものと思われる。

〔６〕(9-2)の未掲載

相手に直接不満を述べるということが日常の場面において想定しづらいようで、調査時に十分な内容を録音することができなかったため、この項目については掲載し

なかった。

〔７〕サンハン

石巻市にある宮城県慶長使節船ミュージアムの愛称。サン・ファン・バウティスタ号が展示されていることから、こう呼ばれている。

〔８〕イダデバー

前文節と連続して「カタズケネデラデバ」のようにも聞こえる。この場合は、「カタズケネデ(イ)ダデバ」のｄ音とｒ音が交替したものだろうか。ここでは、文意を優先して「イダデバ」の形式で記述をおこなった。

宮城県石巻市方言会話集（場面設定会話）担当者

収録担当者　内間　早俊（東北大学大学院文学研究科博士後期課程３年）
津田　智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程３年）

文字化担当者　内間　早俊（東北大学大学院文学研究科博士後期課程３年）